



「五年目を迎えて」

東北農政局 和賀中央農業水利事業所
豊沢川農業水利事業建設所長 寒河江 陽 二

平賀理事長をはじめ、豊沢川土地改良区組合員の皆様には平素より国営「豊沢川地区」の事業推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年の春の訪れは早く、雪解けが先行し新緑の芽吹きが今か今かと待ち遠しい今日この頃です。春の通水にむけ豊沢ダムももう少して満水位を迎え、満水位からの取水が図れる状態まで流入可能と考えております。

さて、当建設所は平成 27 年 8 月に開設され、早くも五年目を迎えることとなります。おかげさまで工事も順調に進み、平成 31 年度は、前年度からの継続工事が 1 件（豊沢ダム取水施設製作据付工事）、今年度新規発注予定工事が 2 件（「工事用道路（その 3）工事」、「豊沢ダム放流施設製作据付工事」）を予定し、6 月に契約できるよう、現在事務処理を進めております。

これからも安全に留意し、事業効果の早期発現を目指して工事を進めて参りますので、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年度工事実施状況と平成 31 年度の工事計画

H30 年度工事（堤体左岸法面工事）
上写真：着工前 下写真：完成



H30～32 年度工事（取水施設製作据付工事）
湖面内での据付状況（H31 年 3 月）



H31 年度主要工事（写真は放流施設の吐き出し口の状況）
吐き出し口に設置されたゲートの更新を 2 ヶ年で実施予定



ごあいさつ



理事長
平賀 巖

組合員の皆様には平素より当土地改良区の業務運営の全般に亘り、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、各行政機関並びに各農業団体各位には、各般に亘る土地改良事業の推進にご懇切なるご指導、ご配慮を賜り、衷心より感謝申し上げます。

先般、任期満了に伴う総代総選挙が実施され、六十五名の総代が選出されました。

総代各位には、積極的なご意見、ご提言と絶大なご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、任期を全うされて退任されました総代各位には、永年に亘り当土地改良区の業務運営の全般に真摯なご意見と献身的なご協力を戴き深く感謝申し上げます。今後とも、地域の指導的立場でのご活躍と当土地改良区運営に更なるご指導、ご協力を下さるようお願い申し上げます。

昨年の用水管理は代掻き、田植え以降は降雨が少なく、六月末にはダムの総貯水量の五十パーセントまで減水しましたが、幸い七月四日から降雨により、直ちに回復し、向後の用水確保の見通しがつき、安堵いたしました。

この降雨は西日本を中心に甚大な被害をもたらした集中豪雨の影響によるものでした。被災されました方々に心からお見舞いを申し上げます。末端の用水供給は、主に老朽化によるものと思

定される破損、故障など三十五件ほど発生しましたが、用水供給に大きな支障を来すことなく済みました。関係皆様のご努力に感謝申し上げます。

国の平成三十年年度当初予算は前年度補正予算と合わせて五千八百億円と大幅削減前の当初予算まで着実に回復してきました。これを受けて、当改良区内管内の県営ほ場整備事業等、概ね計画どおり進めることができました。各関係機関、組合員のご協力に感謝申し上げます。

県営大規模ほ場整備事業につきましては、小瀬川地区に続き天下田地区が完工いたしました。残り三地区の早期完成を目指すとともに、未整備地区等の整備要望に応えるため、合意形成、計画調査を進め、早期着手を目指します。

また、農地耕作条件改善事業につきましても、年々要望地区が増えておりますので、予算の拡大について国・県に強く要望して参ります。農業用水につきましては、集中かつ大量な水使用への対策が急がれます。現施設での対応には限界がありますので、農作業のピーク分散による水需要の平準化を図るための協議を重ね、理解を深めて参ります。

この解決策には用水使用の前倒しが有効な手段であり、水利権の変更等抜本的な対応を関係機関に強く求めて参ります。台堰及び金矢堰の改修は昨年度をもって完工いたしました。

しかし、新田堰頭首工下流の基幹的な排水路等につきましても、先のストックマネジメント事業において、経年劣化が確認されている施設が多くあります。国が実施している「広域基盤整備計画調査」に積極的に参画し、県営かんがい排水事業の調査地区採択も含め、これら施設の改修計画の策定を急ぐ必要があります。

国営かんがい排水事業「豊沢川地区」につきましては、豊沢川農業水利事業建設所に積極的に協力し、早期改修による農業用水の安定供給を図つ

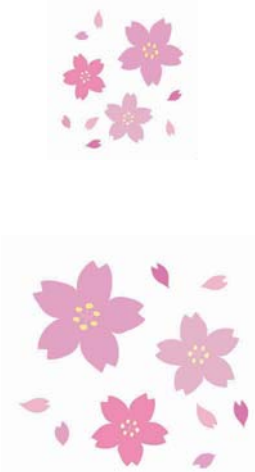
て参ります。小水力発電計画につきましては、昨年十一月末に優先系統連系希望者に決定し、暫定連携が可能となりました。松沢地内の小水力等再生可能エネルギー導入推進事業と併せ、売電を早期に実現し、安定した当土地改良区の運営に努めて参ります。

当地区の水田農業をしっかりと守っていくためには、土地改良の積極的な実施が不可欠です。国の「土地改良長期計画」及び岩手県の「いわての農業農村整備の展開方向」に沿って、農業者と一体となった施策の展開を目指して参ります。

これら新規事業の計画的な採択を進めるため、地域の実情を反映した新たな対応を提案し、当初予算の増大・確保に向けた強力な活動を展開して参ります。

農地の整備と農業水利施設の適切な維持管理は土地改良区に課せられたまさに基本的な使命であります。関係機関、各農業団体と密接な連携を図りながら、事務事業の推進に役員一同、一層の努力を傾注して参る所存でありますので、よろしくご協力下さるようお願い申し上げます。

間もなく三十年四ヶ月に亘った「平成」の時代が終わろうとしています。めまぐるしく変化する社会情勢、著しく進展する情報社会の中で、殊に多くの自然災害が発生した時代でありました。今年には災害の無い年でありませう、皆様と共に祈念いたしますと存じます。



末筆になりましたが、本年も無災害で安全な農作業をもって豊穰の年でありませうとともに、皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。